

平成23年度「地域密着型金融推進計画」 上期の進捗状況

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

創業・新事業支援では、「おびしんふれあい相談室」を主体に創業相談・各種経営相談・事業承継相談等に対応し、平成23年度上期は、創業融資実行29件、318百万円の実績となりました。

経営改善支援では、平成23年度は経営改善支援先として265社を選定して、経営改善計画策定を支援し、その後モニタリングおよび経営改善アドバイスを行っており、9月末までの正常先へのランクアップは4先となりました。また、事業再生では、会計事務所と連携した取組みとしてTKC北海道会と「経営改善計画策定支援サービスに関する覚書」を締結し、取引先企業の再生支援に取り組んでおります。

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

中小企業金融円滑化法に適切かつ積極的に対応するため、同法に係る通信教育を昨年度の123名に加えて平成23年度は22名の融資・渉外担当役席者等に受講させ、中小企業診断士や農業経営アドバイザーの養成を継続するなど、経営改善支援実務能力や職員の目利き力の一層の向上に努めております。

また、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組みでは、内部の研修を充実させるなど、営業店のノウハウ習得に努めており、ABL等の動産・債権譲渡担保融資実績は、3件・356百万円となっております。

なお、経営に実質的に関与していない第三者の個人連帯保証では、原則として徴求しない方針とし、関係規程類を整備しております。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

平成23年度も「地域経済振興部」を主体に、地域経済・産業等に関する情報収集・分析および研究の拡充、次世代経営者の育成・支援、事業承継に関する情報提供、リエゾン・コーディネータ機能の強化といった「地元金融機関ならではの」取組みを展開しております。今後におきましても、お客様に最適なソリューションを提案できるように努める方針です。

また、老人クラブ等地域住民を対象とした年金や振り込め詐欺被害防止等に関する出前講座を13回開催したほか、次代を担う子どもたちが金融や経済に関する基本的な知識を身につけられるよう、金融経済体験学習の機会も提供しております。

4. 経営力の強化

ディスクロージャー誌の充実では、金融ADR制度の対応を含めた顧客保護に関するページを追加するなど、当金庫の情報が、見やすく、分かりやすくなるよう工夫しております。

地区別総代協議会では、総代を通じて会員やお取引先の皆様の様々な意見をいただく貴重な意見交換の場となっております。また、会員1,000先を対象に8回目のアンケート実施し、総会員数の約1%に相当する426先より回答をいただき、6月開催の通常総代会で結果報告を行っております。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(1) 創業・新事業支援 ①創業・経営相談ニーズへの対応能力の一層の発揮

具体的取組策	実施内容
(1) 創業者支援制度の継続的取組みと、営業店での創業融資に対するサポート強化 (2) 各種ファンドや公的制度を活用した経営支援の実践 (3) 十勝版「産学官・金融連携システム」を活用したお取引先の技術的課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・創業融資実行 29件、318百万円 ・中小企業支援ネットワーク強化事業(経産省)での専門家派遣 3件 ・中小企業基盤整備機構の国際化支援事業の活用 1件 <p>【年度目標】創業融資件数 50件 【半期実績】創業融資件数 29件</p>

(2) 経営改善支援 ①取引先企業の経営改善支援

具体的取組策	実施内容
(1) 営業店担当者の経営改善支援能力向上に係る集合研修の実施および営業店訪問による個別指導 (2) 経営改善支援先の経営改善計画策定を支援し、その後のモニタリングおよび経営改善指導の実施 (3) 正常先から要注意先にランクダウンした先に対する早期の経営改善指導の取組み (4) 貸出条件の変更等を実施した先に対する早期の経営改善指導の取組み (5) ランクアップ事例(経営改善成功事例)の公表	<ul style="list-style-type: none"> ・審査部研修において経営改善支援研修を実施(6/23 参加者30名) ・経営改善支援の選定に係る営業店訪問を全店実施、経営改善支援先265社(選定率16%)を選定(内訳:継続先135社、新規先130社) ・延べ20先に対して、企業支援担当の営業店直接訪問による進捗状況モニタリング、経営に関するアドバイスを実施 ・貸出条件の変更等の実施後のモニタリング状況について、各営業店を訪問(9/15~9/30) ・経営改善支援先12先に対して、企業支援担当の直接訪問による改善計画策定支援、進捗状況モニタリング、経営に関するアドバイスを実施 ・平成22年度ランクアップ事例2件をホームページ上で公表(6/23) <p>【年度目標】 選定率 15%以上 計画策定率 100% ランクアップ率 8%以上</p> <p>【半期実績】 選定率 16.0% 計画策定率 100% ランクアップ率 1.5%</p>

Ⅱ. 個別取組み策

(3) 事業再生 ①取引先企業の再生支援に係る関係機関との連携

具体的取組策	実施内容
(1) 北海道中小企業再生支援協議会の利活用 (2) 会計事務所と連携した取引先企業の再生支援	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業再生支援協議会への案件相談(2件) ・TKC北海道会と「経営改善計画策定支援サービスに関する覚書」を締結(6/15) ・TKC経営革新実務研修会に参加(9/6)

(4) 事業承継 ①「おびしんふれあい相談室」の機能強化

具体的取組策	実施内容
(1) 多様化・高度化する顧客ニーズに対応できる専門性の高い職員の育成 (2) 中小企業に対する各種経営情報、個人向け資産運用等の情報発信 (3) 創業から経営改善、事業承継等企業のライフサイクルに応じた支援態勢の強化 (4) 個人の資産形成や資産運用に関する相談ニーズへの対応 (5) 認知度向上のため、設置場所・相談業務内容等について広告・宣伝の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・日本政策金融公庫 林業経営アドバイザーミーティングへ1名派遣(9/9) ・職員向け事業承継セミナーおよび共済制度説明会を開催(6/11) ・日本M&Aセンター主催「M&Aスペシャリスト養成講座」へ各1名派遣(2回) ・NEXTWAVE 23年7月号への寄稿(テーマ:事業承継) ・外部への講師派遣(2回、講演テーマ:事業承継) ・資産運用セミナー開催(3回) ・現金封筒でのコマーシャル他認知度向上に向けたPRを実施 ・ラジオ放送による宣伝および相談室職員の番組出演(放送局:FM-JAGA、番組名:知って!得する!ライフプラン)



ご相談受付
平日:午前9時～午後6時
土曜日:午前9時～午後4時

●お電話・FAX・インターネットでもご相談いただけます。

0800-800-6100

TEL: 0155-28-6100 FAX: 0155-28-6125

<http://www.shinkin.co.jp/obishin/fureai.html>



2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

(1) 目利き力の向上と金融円滑化への適切対応

具体的取組策	実施内容
<ul style="list-style-type: none"> (1) 目利き力の向上および金融円滑化に関する研修の実施・派遣 (2) 目利き力の向上および金融円滑化等に対応した通信講座の実施 (3) 中小企業診断士の養成 (4) 農業経営アドバイザー、林業経営アドバイザーの養成 	<ul style="list-style-type: none"> ・北信協「企業再生支援講座」へ2名派遣 ・全信協「目利き力実践講座」へ各1名派遣(2回) ・全信協「企業再生支援実践講座」へ1名派遣 ・融資・渉外担当役席者等の未受講者22名を対象に、通信教育「金融円滑化法がよくわかる講座」を6月より開講 ・中小企業診断士第1次試験に1名が合格、10月に第2次試験を受験 ・農業経営アドバイザー試験(筆記)に5名が受験し、4名が合格

(2) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の推進

具体的取組策	実施内容
<ul style="list-style-type: none"> (1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の推進 (2) 経営者以外の第三者による個人連帯保証等の慣行の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・動産・債権譲渡担保融資に係るPC研修を実施(5/18 全店融資担当役席者・融資担当者対象) ・動産・債権譲渡担保融資3件、356百万円実行 ・第三者保証人を徴求しないことを原則とする対応方針を通知(7/29) ・経営に実質的に関与していない第三者の個人連帯保証は原則として徴求しない方針とし、関係規程類の改正を実施(9/28)

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(1) 地域経済・産業等に関する情報収集・分析および研究の拡充

具体的取組策	実施内容
(1) 地域資源の掘り起こし・再評価 (2) 帯広畜産大学との共同研究 (3) 景気・経済・産業動向の調査・分析の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度共同研究成果報告会を開催(3会場で実施、合計63名参加) ・帯広畜産大学との共同研究契約締結2件(9/26) ・平成23年3月～8月中心管内経済指標概況を発表 ・第105、106回地域企業景気動向調査・特別調査を実施



共同研究成果報告会大樹会場



共同研究成果報告会足寄会場



おびしん地域振興セミナー

(2) 金融・経済・産業等に関する効果的な情報発信と情報共有化

具体的取組策	実施内容
(1) 季刊誌「NEXT WAVE」の発行(読者アンケートの実施) (2) 異業種交流イベントをセットした講演会、経済振興フォーラム等の実施 (3) 管内外の講演会・諸会議等における講演・講義、助言などの積極的な実施 (4) 営業店長等の役職員を対象としたセミナー・視察会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・NEXT WAVE87、88号を発行、特別企画(女性事業者による座談会)と読者アンケートを掲載 ・7/7開催の「本別町懇談会」をはじめ、37会議に延べ44名参加 ・7/12開催の「ちいきみらい勉強会」をはじめ、3つのセミナー等で講師 ・おびしん地域振興セミナーを開催、岩崎夏海氏による講演「組織マネジメント～人を生かすマネジメント～」に274名(うち役職員60名)参加

(3) 次世代経営者の育成・支援、事業承継に関する情報提供

具体的取組策	実施内容
(1)「おびしん地域経営塾」第11期の開講・運営等 (2)事業承継等に関するセミナー・勉強会、その他の支援事業の実施	・「おびしん地域経営塾」第11期を開講 i)開講式、第1回講義(7/27 講師:作家 岩崎夏海氏) ii)第2回講義(8/22 講師:小樽商科大学教授 船津秀樹氏) iii)第3回講義(9/14 現地講義・工場見学 講師:(株)山本忠信商店代表取締役 山本英明氏)

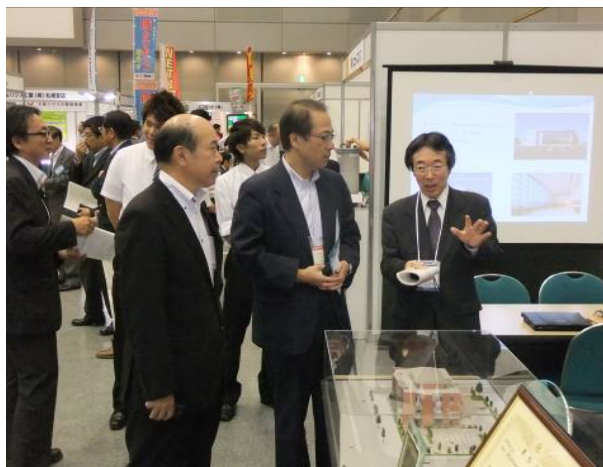


9月14日
第3回講義の様子(工場見学、山本社長による講義)



(4)リエゾン・コーディネータ機能の強化

具体的取組策	実施内容
<ul style="list-style-type: none"> (1) 地域間ビジネス交流事業の実施 (2) 首都圏等でのビジネスマッチング・イベントへの出展幹旋 (3) フードビジネスサポートネットワーク会議の継続実施 (4) 新商品開発・販路開拓支援事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・帯広物産協会・北海道中小企業家同友会主催「首都圏×十勝ビジネスマッチング」に当金庫紹介先8社が出展(8/29) ・北海道経済産業局ほか主催「機能性食品・化粧品ビジネスマッチングin札幌2011」に当金庫紹介先2社が出展(9/8) ・日本橋三越「北海道展(8/30～)」に当金庫紹介先4社の出展が決定 ・(株)オフィス内田による個別相談会を6回に渡り12日間開催(31社参加：うち現地訪問8社) ・(有)シティスーパー・ジャパンとの商談会に8社参加(6/22 主催:大地みらい信金) ・当地ギフト店、静岡県ハーブ栽培業者および東京の飲食店へ事業者紹介(11社) ・アフラック(生命保険会社)の社内販売向けに事業者紹介(5社) ・(株)マルシェ北海道(札幌市 新千歳空港売店)へ事業者紹介(4社) ・信金中央金庫北海道支店作成の販路開拓支援カタログへの掲載業者紹介(15社) ・MAN SHIP社(台湾・高雄で飲食店経営)へ事業者紹介(6社)



ビジネスマッチング商談会

(株)オフィス内田による相談会の様子

(5) 新たな産業の創出と関連産業の振興

具体的取組策	実施内容
(1)「とち酒文化再現プロジェクト」への取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・酒米「彗星」の播種(種まき)作業(4/18) ・田植え実施(5/25) ・とち酒文化再現プロジェクト連携機関会議(7/11) ・名称募集開始(9/1) ・登熟(出穂後の成熟度合い)調査(9/21)



田植えの様子



稲の様子



出来秋

(6) 地域の事業者によるCO2削減活動への支援

具体的取組策	実施内容
(1)当金庫の国内クレジット制度への参加 (2)CO2排出削減事業者としての「どさんCO2・クレジット・ポート」への参画 (3)地域の事業者のCO2排出削減量買い手としての「おびしん・どさんCO2ファンド」の創設	<ul style="list-style-type: none"> ・当金庫の国内クレジット制度への申請に伴う実地審査(8/26) ・管内2社会福祉法人が、当金庫をCO2削減量の買い手として国内クレジット委員会に申請(認証後、クレジット・ポート、ファンドの利用提案)

Ⅱ. 個別取組み策

(7) 年金・悪質詐欺犯罪・多重債務予防等の情報提供機能の発揮

具体的取組策	実施内容
(1) 老人クラブ、町内会、市町村等、地域住民を対象とした年金や振り込み詐欺防止等に関するセミナー開催 (2) 「年金関連情報」等の発行による金庫職員の相談能力の向上および顧客への情報提供 (3) 「おびしんふれあい相談室」での多重債務顧客への親身かつ適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の開催13回、延べ635名が参加 ・年金相談・推進に関する小冊子等各店に送付(3回計8種類) ・年金推進・年金相談にかかる「年金関連情報」第1号～第16号・特別号1号を掲示板に掲示 ・「多重債務者からの相談に係る柔軟な対応について」を各店に周知(9/27)



出前講座の様子



(8) 金融教育活動の実施

具体的取組策	実施内容
(1) 小・中学生、高校生を対象とした金融体験学習会等の実施(まちづくり事業等への参加、営業店での受入れ支援を含む) (2) 中学・高校生のインターンシップ受入れ等による金融経済教育の実施 (3) 学校教育現場に講師として職員を派遣 (4) 地域の高校生による、独自の「まちづくり活動」への支援 (5) 地域の高校生による、全国信用金庫協会主催「高校・高専生！わがまちビジネスアイデア・コンテスト」への応募支援	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み子ども夢教室(8/3 小学生による中央支店ビル見学) ・星槎学園のホコテン出店支援(9/4) ・芽室高校インターンシップ(8/2) ・職業学科、総合学科の管内5高校(帯広農、帯広南商、更別農、土幌、池田)に「まちづくり活動」支援の趣旨説明を実施 ・更別農業高校が「まちづくり活動」に関する計画提出

4. 経営力の強化

(1) ディスクロージャーの充実

具体的取組策	実施内容
(1) ディスクロージャー誌の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクロージャー基準を作成し、2011年版ディスクロージャー誌製作開始(5/25) (金融ADR制度の対応を含めた顧客保護に関するページを追加) ・ディスクロージャー誌の縦覧開始(7/29)

(2) 総代意見・会員アンケートの経営への反映

具体的取組策	実施内容
(1) 地区別総代協議会の開催 (2) 会員アンケートの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・第8回会員アンケート結果(回答率42.6%、426件)を第97期通常総代会に報告、あわせて店舗窓口に備え置きを開始(6/17) ・地区別総代協議会、会員アンケートの意見・要望に係る対応状況 <ul style="list-style-type: none"> i) CS向上に向けた接客対応研修の充実化 ii) 企業等からの要請に応え対応マナー研修の実施(3回)